

令和元年 佐世保市観光の概況（1月～12月）

令和元年は、国全体では、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催を契機とした訪日需要の高まりや、東アジア市場での航空便の新規就航・増便などもあり、韓国市場の減速はあったものの、年間の訪日外国人観光客数は3,188万人、前年比2.2%増と7年連続で過去最高を記録した。

佐世保市においては、佐世保の発展の礎となった「佐世保鎮守府開庁・佐世保港開港130年」という記念すべき年であったことから、鎮守府関連（日本遺産）を中心とした観光PRや「黒島の集落」（世界文化遺産）を舞台とした集客イベントの実施、世界で最も美しい湾「九十九島」の訴求に継続して取り組むなど、本市特有の観光コンテンツを積極的に活用したプロモーションの強化と誘客活動を行った。

また、インバウンド関連では、1月の香港⇄長崎間のLCC定期便の新規就航を契機に、香港での観光プロモーションを強化したことで来訪者が増加した。また、中国・上海や台湾での観光情報説明会の開催や誘致セールスを実施するなど、東アジアを中心とした誘客対策に継続して取り組んだ。

クルーズ船については、全国的な傾向として、中国市場の急拡大後の調整局面から配船量の減少がみられ、本市への寄港数も前年を下回った。

観光客の動向は、夏休み期間や週末など繁忙期の荒天や、大規模台風の接近・上陸など天候不順が続く日が多かった事などが大きく影響し、観光客数で582万4千人（対前年96.9%、18万8千人減）、宿泊客数も153万3千人（対前年98.4%、2万5千人減）という結果となった。

令和元年度 重点事業について（4月～3月）

1 日本版DMOとしての機能構築と観光地域づくり

（1）「海風の国」佐世保・小値賀の観光地域づくりの推進

佐世保市を代表する観光コンテンツであるハウステンボスや九十九島を起点に、地域周遊、滞在時間の延長につなげるため、各地域の特性や特色を活かした観光資源の磨き上げを行い、地域全体のブランドづくり、観光客の多様なニーズに対応した取り組みを行った。

特に、地域ならではの観光資源の磨き上げとして、圏域内の地域住民や団体が推進する地域活性化の取り組みへの支援や、観光人材の育成として、外国人観光客を対象としたガイドの育成及び外国語対応のまち歩き商品など滞在プログラムの造成を行った。

また、観光立市として将来に渡って観光地域づくりの推進やおもてなしの心の醸成を地域住民まで浸透出来るよう、地域の子供たちを対象とした勉強会の開催や地域の歴史を学ぶツールを制作し配布するなど、観光に触れる取り組みを行った。

（２）ワーキンググループ機能の充実

観光地域づくりやブランディングの推進を目的に官民・業種を越えた連携、協働事業を行うワーキンググループでは、交通事業者を中心に本土と離島を結んだ「海風の国」を感じることができる滞在型旅行商品の造成や、生産者や飲食店などの事業者と一緒に“地域ならではの食”をテーマにしたおもてなし受入整備の取り組みに着手した。

2 観光客誘致とプロモーション

（１）国内誘致・プロモーション

九州観光推進機構及び長崎県との連携により、大都市圏を主とした旅行エージェント等への旅行商品造成を促すセールス活動や、市内の観光・宿泊施設などの事業者との協同で、本市への宿泊を伴う教育旅行及び九州大会規模のコンベンションの誘致活動を行った。

特に教育旅行では、新しい取り組みとして、国際社会共通の目標「持続可能な開発目標SDGs（エスディージーズ）」をテーマに、生徒が能動的に学ぶことができるような学習方法「アクティブラーニング」を取り入れた体験プログラムの開発に着手した。

宣伝活動については、世界で最も美しい湾「九十九島」、日本遺産「鎮守府関連」、世界文化遺産「黒島の集落」の素材を中心に、各種メディアへの情報発信及び取材対応、公式SNSでの情報発信などのプロモーション活動や、ハウステンボスなど民間事業者とも連携し、旅行雑誌等への掲出や観光情報サイト・SNSなどのWEB活用、交通広告など各種広告媒体の特性を捉えたメディアミックスを心がけて広告宣伝を行った。

（２）海外誘致・プロモーション

FIT化が加速している東アジアを中心とした訪日観光客の誘致を促進するため、香港・台湾向けの繁体字のフェイスブックの発信強化に加え、新たに英語圏や中国（簡体字）、韓国（ハングル文字）のフェイスブック、インスタグラム、ウェイボーなど公式SNSを開設し観光情報発信をスタートした。特に、平成31年1月に長崎直行便が就航した香港を最重点地域として、FITを対象とした二次交通手段を紹介するツールの制作や現地の訪日観光情報サイトへの発信、ユーチューバー、インフルエンサーを活用したWEBプロモーションなど集中的な情報発信を行った。

3 自主財源の確保と自主事業の展開

当協会は公益財団法人として、主に行政からの補助支援による「公益目的事業」を中心とした事業展開を図っているところであるが、より安定した事業運営を行うためにも、観光客の利便性、満足度の向上を目的とした観光に寄与する以下の自主事業を積極的に展開した。

- ・募集型企画旅行（ウォーキングツアーなど着地型商品の開発、既存商品のリニューアル）
- ・手配旅行（大会運営にかかる会議や宿泊の手配など／みちづくし in 佐世保、海事振興連盟）
- ・観光バス事業（クルーズバス海風）
- ・自社商品（ハウステンボス&海きららセット券など）、受託商品販売（軍港クルーズなど）
- ・ふるさと納税事業（佐世保市内宿泊券など）

■佐世保観光コンベンション協会 令和元年実績

(1) 佐世保指目標

項目 \ 年	単位	R1 実績	H30 年実績	前年比
① 観光客数	人	5,824,354	6,012,868	96.9%
② 旅行消費額	百万円	86,205	97,384	88.5%

(2) DMO指標 ※ () 内、外国人

項目 \ 年	単位	R1 実績	H30 年実績	前年比
① 宿泊消費単価	円	38,744 (38,500)	40,646 (42,500)	95.3% (90.6%)
② 延べ宿泊者数	千人	1,845 (168)	1,898 (178)	97.2% (94.4%)
③ 来訪者満足度	%	89.4	88.5	101.0%
④ リピーター率	%	58.4	61.4	95.1%

※ (2) -④リピーター率は、2 回以上来訪者数の合計（無回答除く）

(3) その他の指標

項目 \ 年	単位	R1 実績	H30 年実績	前年比
① 宿泊施設の稼働率	%	49.0	50.5	97.0%
② WEBサイトアクセス数	P V	1,638,844	1,727,454	94.9%
③ 観光素材認知度	%	62.2	62.5	99.5%

※ (3) -①宿泊施設稼働率は、定員比

※ (3) -②WEBサイトアクセス数は、ページビュー

※ (3) -③観光素材認知度＝九十九島の認知度

※ (3) -②・③は、年度（4 月～翌 3 月）の数

〈補 助 ・ 委 託 事 業〉

- 1 観光地域づくりプラットフォーム構築事業
- 2 観光地域ブランド確立事業
- 3 プロモーション事業
- 4 九十九島誘客事業
- 5 印刷物事業
- 6 「世界で最も美しい湾、九十九島」PR事業(委託)
- 7 佐世保鎮守府 130 年記念事業(委託)
- 8 「黒島の集落」集客対策事業(委託)
- 9 その他PR関連(委託)
- 10 国内観光誘致事業
- 11 コンベンション誘致事業
- 12 コンベンション開催助成事業
- 13 修学旅行誘致事業
- 14 修学旅行誘致新規施策事業
- 15 国際観光誘致事業
- 16 訪日外国人誘致事業
- 17 西九州させば広域都市圏連携事業
- 18 クルーズ船受入対策事業
- 19 着地型観光ニーズ創出事業

〈自 主 事 業〉

- 20 旅行事業
- 21 物販事業
- 22 駐車場賃貸事業
- 23 賛助会員事業
- 24 観光交流センター賃貸事業

〈そ の 他〉

- 25 会議報告
- 26 監査実施状況
- 27 法人登記変更登記に関する事項
- 28 役員等に関する事項

〈補助・委託事業の部〉

1 観光地域づくりプラットフォーム構築事業

決算 35,340 千円 予算 42,405 千円 (執行率 83.3%)

地域づくり、マーケティング、ワンストップサービスなど観光地域づくりの基本となる事業を行う体制(観光地域づくり法人(DMO)、観光地域づくりプラットフォーム)を整えた。

(1) 佐世保観光情報センター

佐世保駅構内に設置し、佐世保市内はもとより、平戸、松浦など長崎県北地区、小値賀、宇久など五島列島への玄関口として各地の観光情報、交通アクセス、飲食店、宿泊施設などの総合案内業務を行った。

また、来訪された観光客のワンストップ窓口機能として、観光周遊バス「クルーズバス海風」、SASEBO 軍港クルーズ、まちあるきをはじめとする着地型商品、ハウステンボス、九十九島パールシーリゾートなどの観光施設のチケットの取扱い、三川内焼などの地域物産品やお土産などの物販も行った。

- ・ 営業時間：9：00～18：00（年中無休）
- ・ 来訪者数：平均 110 名／日
- ・ 対応職員人数：2 名／日

平成 26 年より、少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できる施設として「JNTO 認定外国人案内所」カテゴリⅡ(※)に認定。

※JNTO カテゴリⅡ：全国で 315 施設が認定。長崎県内では、長崎市総合観光案内所（長崎駅構内）、長崎空港案内所、島原市観光案内所、佐世保観光情報センターの 4 箇所。

■情報センター来訪案内者数 [単位：人]

	日本人	外国人	合計
4 月	3,190	462	3,652
5 月	3,816	515	4,331
6 月	2,288	572	2,860
7 月	2,591	579	3,170
8 月	3,318	437	3,755
9 月	3,384	563	3,947
10 月	3,678	552	4,230
11 月	3,203	438	3,641
12 月	2,476	651	3,127
1 月	2,365	538	2,903
2 月	2,112	350	2,462
3 月	2,265	70	2,335
合計	34,686	5,727	40,413



佐世保観光情報センター

2 観光地域ブランド確立支援事業

決算 28,859 千円 予算 35,994 千円 (執行率 80.1%)

当協会は小値賀町と連携して、平成25年度から観光庁の認定を受けて策定した『「海風の国」佐世保・小値賀観光圏整備計画』5ヵ年計画に基づき、ブランド観光地域化に取り組んできたところであるが、観光地域づくりは、更に長期的な取り組みが必要であることから、引き続き、平成30年度より新たに観光圏整備実施計画(5ヵ年計画)を策定し、認定をいただいた。

当協会はこれまで取り組んできた「海風の国」佐世保・小値賀観光圏事業、またこの間、構築してきた「観光地域づくりプラットフォーム」の推進体制が一定評価され、観光地域づくり法人(DMO)として国の認定登録(令和2年3月31日時点_DMO法人162件、候補法人119件)を受けたところであり、国においては、更なる次のステップとして「世界水準のDMO」を推奨していく考えを示されている。

今後とも本圏域全体のブランドイメージの定着を図っていくとともに、ハウステンボスや十九島だけでなく、各地域の特性や特色を活かした、更なる観光資源の磨き上げを行い、インバウンドをはじめとする観光客の多様なニーズに対応することにより、地域周遊と滞在時間の延長につなげていくことを目指し、地域ならではのコンテンツ、滞在プログラムの造成と磨き上げと関係住民や事業者のおもてなしの心の醸成、ガイド育成等の人づくりを中心に、以下の事業を実施した。

(1) ブランド価値の提供「地域の魅力創出」

来訪者が「地域らしさ」を体感できるような地域の魅力を創出する。

① 「食」の品質認証制度調査・研究事業

来訪者に、地域ならではの「食」を通じて地域性を感じてもらうため、地元産の食材を使用している地元店舗に、「海風の国」エリアロゴを使用した共通ツールを掲出する事業。地元食材の使用や本地域らしい料理を提供している店舗を観光客にわかりやすく伝えることに加え、飲食店の方々が地域のことと観光客に語るきっかけづくりを目的とする。

飲食店賛同店舗：15店舗(令和2年度継続募集中)



タペストリー掲出イメージ

② ガイド人材育成事業

指標		目標	実績
活動指標	ガイド合同勉強会	1回	3回
成果指標	ガイド合同勉強会参加者	延べ30名	延べ52名

当圏域内の各ガイドスキル向上および、広域連携を図るため、「安全」に対し意識を高める「リスクマネジメント講座」と他地域で実施されているガイドツアーから自地域のガイドングに活かすための「ガイド合同勉強会」を行った。相互に他地域のガイドング、観光情報について学ぶことで広域的な視点を持ち、自地域以外の魅力を発信し、観光客の周遊促進に繋げた。

a リスクマネジメント基礎講座

日 時：令和元年10月24日

講 師：海風くらぶ 清水保穂氏（CONE リスクマネジメント基礎講座講師）
参加者：16 名（ガイド・パールシースタッフ・一般市民 他）

b ガイド合同勉強会（黒島「島あるき」）

日 時：令和 2 年 1 月 20 日

参加者：13 名（海自 OB・江迎・宇久・インバウンド対応・まちなか 他）

c ガイド合同勉強会（海軍さんの散歩道）

日 時：令和 2 年 1 月 30 日

参加者：18 名（海自 OB・黒島・宇久・小値賀・針尾・インバウンド対応・まちなか 他）

d ガイド合同勉強会（針尾送信所見学）

日 時：令和 2 年 1 月 30 日

参加者：21 名（海自 OB・黒島・宇久・小値賀・インバウンド対応・まちなか 他）

③滞在プログラム造成事業

指標		目標	実績
活動指標	プログラム商品造成 WG 会議開催	3 回	6 回
成果指標	1 丁目 1 番地プログラム造成	1 プログラム	1 プログラム

地域ならではの滞在コンテンツ、プログラムの造成・提供を目的に、日本人ペルソナに向けた「海風の国」佐世保・小値賀を体感できるツアーの造成・検証、商品化を行った。この地域文化に根ざしたプログラムをきっかけに、改めて「海風の国」の魅力、地域独自の価値を見出すことができた。

商品名：「海風の国」佐世保・小値賀を体感できる 3 泊 4 日特選の旅

行 程：1 日目_佐世保駅→九十九島シーカヤック（無人島牡蠣ランチ）→宿泊

2 日目_佐世保港→小値賀港→昼食→島内観光→民泊体験→宿泊（古民家）

3 日目_朝市→小値賀港→野崎島→小値賀港→島内観光→夕食→宿泊（古民家）

4 日目_小値賀港→佐世保港→（オプション）市内タクシープラン

④サクラクオリティ事業

外国人にも分かりやすい宿泊施設情報を発信することにより、訪日外国人観光客の増加を図るとともに、調査結果のフィードバックにより、施設の各種改善などに活用する、宿泊施設の品質保証制度の導入を促進した。

a サクラクオリティ調査員研修

日 時：令和元年 10 月 30 日～31 日

参加者：佐世保観光コンベンション協会 関戸裕子

b 宿泊施設品質保証制度 サクラクオリティ説明会

日 時：令和 2 年 1 月 22 日

講 師：一般社団法人 観光品質認証協会 統括理事 北村剛史氏

参加施設：12 名（OYO させばパレスホテル・佐世保グリーンホテル・潮幸の宿 はな一・ホテルリソル佐世保・弓張の丘ホテル・黒島民宿 古民家と一ぼし 他）

c サクラクオリティ現地調査実施

日 時：令和元年 10 月 9 日

施 設：ホテル日航ハウステンボス

調査員：佐世保観光コンベンション協会 松田紹弘・中原優子



日 時：令和元年 11 月 5 日

施 設：ホテルブリズヴィラ波佐見

調査員：佐世保観光コンベンション協会 関戸裕子

長崎県観光連盟 情報企画部 次長 山田順司

※今年度より長崎県が主体となり県内での導入を促進し、県と連携を図りながら事業を行った。当圏域を含めて県内でサクラクオリティ参画施設が 30 施設となった。

⑤九十九島クリーンアップ大作戦

制定 20 周年を迎えた 9 月 19 日「九十九島の日」に九十九島周辺の清掃美化活動を行った。また、九十九島の写真を市民で一斉に SNS 投稿を行う『九十九島』SNS 一斉投稿キャンペーン」も同時に実施し、九十九島の知名度向上、おもてなしの心の醸成と、地域独自の景観形成・資源の保全を行った。

日 時：令和元年 9 月 19 日

場 所：九十九島（パールシーリゾート周辺、長尾半島、旧鹿子前海岸、九十九島海域）

参加者：314 名（一般市民、米海軍佐世保基地、佐世保海上保安部、海上自衛隊、佐世保地方総監部、陸上自衛隊相浦駐屯地、ほか）

投稿数：Instagram 121 件、Facebook 5 件、Twitter 55 件

(2) ブランド価値の提供「受入環境整備」

国内外の来訪者が快適かつ安心して周遊・滞在できるための受入環境の整備をする。

①地域受入整備事業

指標		目標	実績
活動指標	地域受入整備	5 エリア	9 エリア
成果指標	顧客満足度（昨年度 88.5%）	89.0%	89.4%

圏域内の住民、事業者等が実施する地域の経済活動につながる事業に対し、支援を行った。

a 宇久・小値賀エリアにおける事業

県内のダイビングスポットの中でもトップレベルの魚の多さ、透明度の高さを誇る小値賀島と宇久島周辺の海域での美しい海を生かしたスキューバダイビングを新たな観光資源にするにあたり、多様な関係者が連携したプロジェクトチームを組成し、モニターツアーを実施した。漁業者に用船業務を協力いただいたことで、安心・安全な運航が確保された。また、密漁等を防ぐ効果も得られるほか、漁業以外での副収入にも繋がっていく。

日 時：令和 2 年 3 月 27 日～29 日

参加者：3 名

行 程：1 日目_佐世保港→宇久島→ダイビング 1→民泊

2 日目_宇久ダイビング 2→昼食(海上)→

小値賀島→ダイビング 2 本→小値賀泊

3 日目_宿泊先→佐世保港

関係者：宇久町観光協会

宇久小値賀漁業協同組合

宇久小値賀漁業協同組合宇久支所

小値賀町産業振興課

おぢかアイランドツーリズム協会



b 黒島・小値賀エリアにおける事業（野崎島・黒島周遊観光ルート開発事業）

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である小値賀町の「野崎島の集落跡」と佐世保市の「黒島の集落」をフックに自治体および多様な関係者が連携し、「海」を活用した周遊ルートを開発した。

行程：10：00～10：50 相浦→黒島(フェリー定期便)
11：00～14：30 黒島周遊(昼食込み)
14：30～15：30 黒島→野崎島(新規航路:チャーター船活用)
15：30～17：30 野崎島周遊
17：30～18：00 野崎島→小値賀

関係者：佐世保旅客船協会・JTB 長崎支店・黒島観光協会・小値賀町産業振興課・おぢかアイランドツーリズム協会・佐世保市観光課・佐世保観光コンベンション協会

c 江迎エリアにおける事業（江迎観光まちづくり支援事業）

地域が主体となって取り組む「住んでよし・訪れてよしの観光まちづくり構想」の事業展開計画を、地域住民と意見交換を行い策定した。また、地域の魅力の体感と周遊促進につなげるため、まち歩きガイドの育成を行った。

計画策定：宿場町のおもてなし演出（屋形船基本計画、まち歩き観光・環境整備など）
宿場町の環境づくり（景観ガイドライン策定、平戸八景整備・活用など）
宿場町の拠点づくり（空き家・空き店舗活用、特産品・土産品の開発など）
情報発信

地域ガイド育成：日 時：令和2年1月21日・1月29日・2月5日・2月15日

参加者：14名

d 三川内エリアにおける事業（三川内地域情報基盤整備事業）

地域の互いの取組みに関する情報を共有できる仕組みづくりを行い、連携・協力ができる環境を整え、地域一体となった情報発信を行った。

整備：地域版ホームページの開設

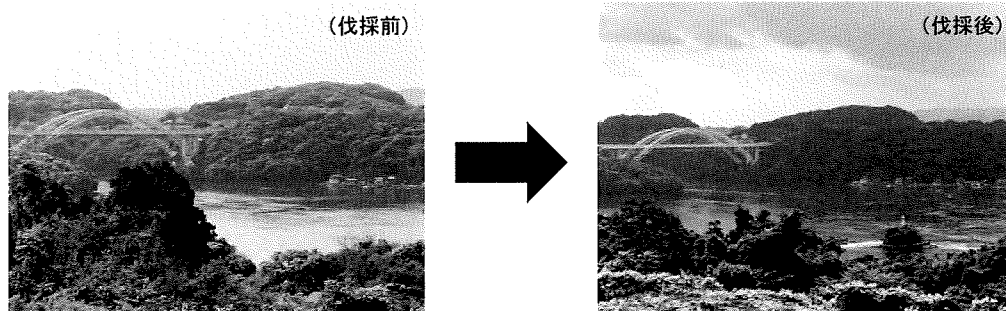
SNS開設（facebook、Instagram）

三川内瓦版（紙媒体）発行 部数2,000部（三川内地区全世帯配布）

e 針尾エリアにおける事業（針尾無線塔3号塔針尾瀬戸付近伐採業務）

国指定重要文化財の旧佐世保無線電信所針尾送信所の3号塔付近はガイド案内のメインスポットであるが、草木が生い茂り針尾瀬戸の渦潮や弁天島を眺望することができなかったため、支障木の伐採作業などの景観整備を行い、来場者満足度の向上に繋げた。

来場者：42,548人（前年比113.1%）



f 黒島エリアにおける事業（黒島地域情報発信ホームページ開発業務）

「黒島の集落」が世界文化遺産に登録されたことを契機とし、ホームページアクセス数も増加していることから、ホームページを活用した情報発信の強化を図るため、新システム導入などリニューアルを行った。

g 俵ヶ浦エリアにおける事業（佐世保要塞小首砲台跡周辺整備事業）

日本遺産に認定されている佐世保要塞小首堡塁跡は俵ヶ浦トレイルコースの見所のひとつであるが、大量の落ち葉や倒木等のため通路がふさがれていたことから、観光客への安全を確保するため、支障木の伐採などを行った。

- h まちなかエリアにおける事業（米軍基地就労者地域周遊促進事業）
インバウンドガイド育成事業（英語対応ガイド 5 名育成）にて造成したまち歩きコースを活用し、米軍基地内でツアーを取り扱っているMWRへ米軍基地内就労者の動向などのヒアリングを行うとともに、英語対応ガイドを活用したまち歩きツアーを商品化し、米海軍基地内のMWR等へチラシの配布を行った。
- j 広域エリアにおける事業（「日本本土最西端の地を巡るツアー」関連業務）
新元号最初の年に行く記念旅として日本本土最西端の地佐世保を中心に、様々な最西端の地を巡るツアーを造成販売。本ツアー募集のための写真素材の撮影、チラシ制作、広告掲載を行った。
利用者：6名
- k 広域エリアにおける事業（「MadeInSASEBO を訪ねる佐世保再発見ツアー」実地調査業務）
佐世保商工会議所と佐世保観光コンベンション協会並びに観光関連事業者で連携して当圏域を周遊するツアーを造成し、実地調査を行った。
第1回
日 時：令和元年 10 月 27 日
商 品：日本遺産「鎮守府」関連施設と九十九島の風景・佐世保の街並みめぐり
第2回
日 時：令和元年 11 月 23 日
商 品：紅葉の名所と世知原茶・三川内焼窯元めぐり

②おもてなし醸成事業

指標		目標	実績
活動指標	講演会開催数	2 回	2 回
成果指標	講演会参加者数(前年度 104 名)	120 名	137 名

観光客の多様なニーズの一つとして地域住民との触れあいなども求められることから、観光客のおもてなしについて、観光カリスマなどを招聘し講演会を開催した。
また、子どもの頃より観光地域の知識、おもてなしの心、ふるさとに愛着と誇りを持つ心豊かな子どもを育むため、小学校高学年を対象に、当圏域の出身者や、史実・歴史に関係の深い人物にスポットをあてた漫画で親しみやすいパンフレットを制作した。
一部の学校では、当パンフレットを組み込んだ授業を計画された。

- a 「海風の国」おもてなし講演会第1回
日 時：平成 31 年 4 月 24 日
講 師：㈱トラベルジップ 代表取締役 大泉敏郎氏
演 題：SNS や HP を活用した情報発信力 UP セミナー
参加者：61 名
- 「海風の国」おもてなし講演会第2回
日 時：令和元年 7 月 24 日
講 師：㈱ジーリーメディアグループ 営業企画部部长 菅江崇氏
演 題：香港・台湾の訪日観光ニーズ
参加者：76 名
- b 小学校高学年向けパンフレット制作業務「海風伝」
内 容：佐世保、小値賀の歴史にゆかりのある人物を子供たちに興味もってもらいわかりやすくマンガで学ぶ。
史実に基づき 14 名の人物を 12 のストーリーで紹介。



部 数：7,000 部

(佐世保市・小値賀町の小学生 5・6 年生全校配布)

c 佐世保小値賀の歴史「海風伝」改訂版制作

内 容：小学校高学年向けに制作・配布した「海風伝」について、一般の方からの問い合わせが多かったことから増刷を行った。情報センターにて希望の方へのお渡しを開始し、電話等で問い合わせのあった市外・県外の方には郵送で配布。佐世保市立図書館、長崎県立図書館、島瀬美術センターにも資料として設置。

部 数：2,000 部

③訪日外国人対象ガイド育成事業

インバウンド戦略として狙う外国人ペルソナ(香港人)を対象とし、趣味嗜好に合った案内を取り入れたガイド研修を行い、受入体制の強化を図った。また、ツール制作および体験メニューなどを入れた滞在プログラムを造成した。

行 程：佐世保駅→黒髪山大智院→トンネル横丁(試食)→佐世保独楽本舗(独楽まわし体験)→四ヶ町アーケード(生産者市場・松月堂)→佐世保駅

(3) ブランド管理「マネジメント体制の確立」

持続的に地域のブランド管理を担うマネジメント体制を確立する。

①組織基盤づくり事業・地域マネジメント強化事業

マーケティング機能の拡充をはじめとする観光圏を支える組織基盤の強化を図るため、講習会等に参加した。

- ・ J N T Oマーケティング研修会
- ・ 長崎県DMO専門人材育成塾
- ・ 運輸政策コロキウム／楽天オプティミズム
- ・ インバウンドセミナー&交流会
- ・ 日本観光振興協会事業説明会〔九州・沖縄ブロック〕参加
- ・ 九州観光ボランティアガイド研修会

②アドバイザー委託事業

「海風の国」観光圏の観光地域づくり及びブランド化にあたり、観光庁をはじめとする関係機関・団体等との情報共有を含む事業調整・統括及び地域関連の調整・助言を行っていた方々をアドバイザーとして招聘した。

a 統括アドバイザー 首都大学東京 都市環境学部観光学科 大学院都市環境科学研究科観光科学域 清水哲夫氏

- ・「海風の国」戦略会議 1 回

b 地域観光圏アドバイザー 富田柚香子

- ・ 全国観光圏推進協議会 1 回
- ・ 「海風の国」観光圏推進協議会 1 回
- ・ 「海風の国」観光圏推進委員会 2 回
- ・ その他各事業別相談複数回有り



③マーケティング調査事業

観光地域づくりの取り組みとして、観光コンテンツ開発や磨き上げ、効果的なプロモーション、誘致セールスなどの事業活動の参考にするため、マーケティング調査を行い、共有を図った。

a 令和元年度佐世保市観光動向調査報告会

日 時：令和元年 6 月 13 日

内 容：平成 30 年佐世保市観光統計・GAP 調査・顧客満足度調査など

参加者：66 名

b マーケティング調査

調査名 1：「海風の国」佐世保・小値賀観光圏 GAP 調査および GAP 追加調査

調査名 2：佐世保・小値賀観光情報サイト「海風の国」のサイト評価アンケート調査

④「海風の国」印刷物制作事業

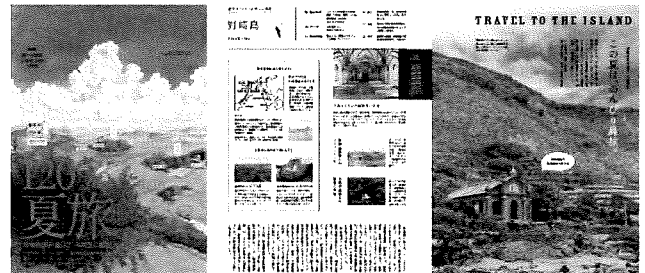
誘客のための域内外への情報発信、来訪者への有用な情報提供を行うため、ブランドコンセプトに基づき、本圏域の魅力を網羅した観光パンフレットを制作した。

制作部数：50,000 部

⑤観光コンテンツ情報発信事業

「海風の国」佐世保・小値賀を表現、代表する当協会主催「海風旅。させば・おちかの旅プラン」等の旅行商品や圏域内の祭り、イベント等の広告を行った。

- ・「Discover Japan」8月号
- ・「海風の国」ホームページ用 PR 動画制作
- ・西日本新聞 旅プラン広告掲載
- ・朝日新聞 旅プラン広告掲載
- ・長崎新聞 旅プラン広告掲載
- ・読売新聞 旅プラン広告掲載



⑥海風ネットワーク情報発信事業

観光事業者、ガイド人材研修履修者、観光マイスターなどで構成する「海風ネットワーク」の機能構築と拡充を図った。

a 海風ネットワーク情報発信（フェイスブック・郵送）

「海風ネットワーク」の相互の情報共有や情報発信の場として開設した Facebook グループで、講演会や地域イベントの情報発信、ガイドの視点による情報などを盛り込み内容を充実させた。

- ・フェイスブック投稿数（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）：71 件
- ・情報郵送：2 回（4 月・3 月）
- ・英語版 Facebook 開設：255 フォロワー

⑦体験プログラム調査事業

圏域内の体験プログラム、滞在コンテンツの最新情報の調査整理を行い、カタログデータの改訂、旅行商品や市内宿泊施設の宿泊プランの造成などへの活用を図った。

集 計：129 プログラム(5 月・11 月実施)

⑧訪日外国人 WEB サイト構築事業（おちか島旅 HP 改修事業）

小値賀島への来島者が多い、欧米系の外国人に沿った多言語 WEB サイトのブランドデザインを整備し、受入体制強化を行った。

(4) ブランド管理「地域連携」

地域の多様な関係者との地域連携に取り組む。

①全国観光圏推進協議会事業

全国の 13 観光圏の共通する課題解決を図るとともに、それぞれ観光地域のブランド化を目指すため、情報共有と協同事業を行った。

a 会議出席

- ・全国観光圏推進協議会（東京） 5 回
- ・全国観光圏シンポジウム（東京）1 回

b 来訪者満足度等調査

全国観光圏及び当圏域内の
来訪者満足度等の調査及び分析



c ツーリズム EXPO ジャパン 2019 「Undiscovered Japan」 ブース出展

日 時：令和元年 10 月 25 日

内 容：全国観光圏シンポジウム&Undiscovered Japan（以下、UDJ）セミナー

d 観光圏共通情報発信ツールの作成

- ・UDJ 英語版・日本版の観光圏紹介パンフレット作成 1 種 2 件
- ・UDJ の WEB サイト・Facebook（日本語版・英語版）の構築・情報発信

②「海風の国」観光マイスター事業

		令和元年度	平成 30 年度	前年比
参加者	シルバー	34	61	55.7%
	ゴールド	21	23	91.3%
	こども	29	-	-

当圏域の観光等について、様々な情報と豊かな知識、おもてなしの心をもって観光客に案内できる「海風の国」観光マイスターを認定する試験を実施。また、観光マイスターの知識を増やすための観光ガイド・テキストブックを制作した。さらに新たな取り組みとして、地域ガイドの協力をいただきながら、佐世保・小値賀ならではの観光資源などを、楽しく、じっくり学ぶ小学生高学年向けの勉強会を開催した。夏休みの宿題の研究材料などにも活用いただき、郷土愛を育むきっかけとなった。

a 「海風の国」観光マイスターシルバー検定試験

認定試験 開催数 2 回 受験者数 34 名

認定証授与式 合格者数 21 名（総認定者数 159 人／令和 2 年 4 月現在）

b 「海風の国」観光マイスターゴールド検定試験

認定試験 開催数 3 回 受験者数 21 名

認定証授与式 合格者数 11 名（総認定者数 87 人／令和 2 年 4 月現在）

c 「海風の国」こども観光マイスター勉強会

日 時：令和元年 8 月 8 日

参加者：29 名（佐世保市 28 名・小値賀町 1 名）

d テキストブック『海風の国トリセツ』改訂版制作

部 数：1,000 冊



(5) 来訪者の評価

地域側の各種取り組みの成果として、来訪者から高い評価を得る。

①顧客満足度調査事業

指標		目標	実績
活動指標	アンケート調査地点	7 地点	7 地点
成果指標	アンケート調査数	2,500 サンプル	2,639 サンプル

全国 13 観光圏で実施している「来訪者満足度等調査」に、当圏域独自の調査項目を追加して、アンケート用紙（日本語版・インバウンド版）を作成。その回答を基に調査・分析を行った。

観光地点（7 地点/2,639 サンプル）・イベント（9 件/1,939 サンプル）

②住民意識調査事業

当地域の観光や今の観光事業に対する住民の意識を調査し、この圏域に住む人々の意識や考えとズレが生じていないか調査を通じて確認を行った。今後は定期的実施し、新たな「質」の指標として位置づけ、地域にプラスの効果をもたらす施策提案に結びつけていく。

内 容：住民が視点のこの街の誇り
観光振興に対する意識
住民が重視する街の観光施策と現施策に対する評価
外部地域に伝えたい街の魅力

サンプル：佐世保市（1,200 件）小値賀（50 件）

3 プロモーション事業

決算 8,809 千円 予算 9,396 千円（執行率 93.8%）

本市を代表する観光地である九十九島を中心とした自然、日本遺産などの歴史・文化、グルメや特産品、アミューズメントなど魅力的な観光コンテンツの広報・PR活動や広告出稿、また、さまざまな媒体の取材受入などを通じてメディアに取り上げてもらうことで、訪れたい観光地域としてのブランドの定着を図った。また、また動画を活用するなどしてインスタグラムやフェイスブックなどSNSでの情報発信を行った結果、以下のフォロワー数を獲得することができた。

- ・Instagram フォロワー数 416(H31.4)⇒822(R2.4) +406
- ・facebook いいね！数 4,501(H31.4)⇒4,859(R2.4) +358

（佐世保ごちそう大図鑑）

(1) 広告・PR事業

① PR活動

メディアに対するPRとして、リリース、取材受入
記事校正、写真貸出等を実施。実施件数：478 件

- a 雑誌 佐世保ごちそう大図鑑 ver.5『SASEBON（させぼん）』、JAF Mate、九州じゃらん、九州ウォーカー、ロケーションジャパン、公募ガイド、ぴあ日帰りドライブ、まっぷる九州、ながさきプレス、オフィシャルマガジン『MAMOR（マモル）』、『日本の365日に会いに行く』、絶景を行く路線バスの旅、まっぷるマガジン、旅色、るるぶ九州 ほか

- b 広報誌 長崎新聞ととって motto!、ファンファン福岡、大分フリーマガジンスマイル、月刊産業機械、ココミル長崎、楽しい我が家、イオンメイト ほか



- c 新聞 長崎新聞、西日本新聞、読売新聞「旅面」、日本経済新聞「ご当地食の旅」、旅行新聞 ほか
- d ラジオ はっぴい FM、KBC ラジオ「長崎ツウな旅 SP」
- e T V テレビ朝日「ナニコレ珍百景」、TOKYO MX「ときめきサンデー」、NHK-B S「釣りびと万歳」、日本テレビ「バケット」、TBS「バナナマンのせっかくグルメ」ほか

(2) ホームページ保守管理・更新

ホームページのサーバー保守・管理及び改訂更新業務。

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日実績

セッション数 722,520 ページビュー数 1,775,252

(3) 観光大使事業（総務部 総務チーム事業）

① 佐世保観光ふるさと大使事業

主に首都圏での佐世保観光の紹介・宣伝にご尽力いただくため、「佐世保観光ふるさと大使」を佐世保市長・佐世保観光コンベンション協会理事長連名にて任命している。

大使に対しては、月に一度のメールマガジン送付などの情報提供や意見交換会の開催、及び名刺の印刷などを行った。

- ・佐世保観光ふるさと大使懇談会

日 時：令和元年 11 月 14 日 16:00～17:00

会 場：ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区）

参加人数：ふるさと大使 25 名

② 佐世保観光名誉大使事業

佐世保の PR 推進のため、平成 27 年度より「佐世保観光名誉大使」を設け、佐世保にゆかりがあり各分野で活躍されている著名人にご就任いただいている。現在、下記のとおり、1 組 17 名に委嘱を行っている。

【佐世保観光名誉大使（五十音順）令和 2 年 3 月 31 日現在】

- ・小川慶太氏 ・金子成人氏 ・小玉ユキ氏 ・早霧せいな氏（新） ・澤田秀雄氏
- ・サンディトリップ ・城島健司氏 ・関根千佳氏 ・袁文英氏 ・TAISUKE 氏
- ・平浩二氏 ・高田明氏 ・TAKAHIRO 氏 ・永井龍雲氏 ・中村有孝氏
- ・原田泳幸氏 ・前川清氏 ・宮本エリアナ氏

③ させば観光大使事業

佐世保市の観光 PR 大使「させば観光大使」として、新たに第 5 期の観光大使 2 名を決定し、8 月に選彰式を行った。

- ・コスチューム類の製作
- ・させばシーサイドフェスティバルの会場内にて選彰式



4 九十九島誘客事業

決算 9,993 千円 予算 10,000 千円 （執行率 99.9%）

ハウステンボスの認知度と共同出稿でのスケールメリットを活かし、関東、関西、福岡、香港に向け、九十九島・ハウステンボスの周遊を促すプロモーションを行った。事業費はハウステンボスと按分。

(1) 新聞・雑誌広告等 4 件

るるぶハウステンボス／じゃらん九州 12 月号
ファンファン福岡 (WEB・LINE・SNS 同時配信)
西日本新聞 7/20、12/14



(2) WEB 広告

リトリップ

インフルエンサー 2 組を招聘し、ハウステンボスのフラワーフェスティバルと九十九島の展望、シーカヤック体験、グルメ等取材してもらい、女子旅編・カップル旅編の 2 記事を出稿。2018 年度末に出稿を行ったリトリップ記事は、GAP 調査結果でも、印象に残っている佐世保のプロモーションとして割合が伸びたことから、今回の記事も、旅先の選定の際に役割を果たすことが見込まれる。

<1 記事目>

タイトル：春のカップル旅は「佐世保」で決まり！インスタグラマーもおすすめる魅力とは

公開日：令和 2 年 3 月 19 日 ページビュー数：13,326 (5/21 時点)

<2 記事目>

タイトル：仕事終わりで週末旅！海風の国「佐世保」を満喫する女子旅プランをご紹介
公開日：令和 2 年 3 月 19 日 ページビュー数：11,861 (5/21 時点)

(3) 交通広告

①都営地下鉄チカッ都ビジョン広告

場 所：浅草線、大江戸線、新宿線
期 間：令和元年 6 月 10 日～7 月 7 日
内 容：ハウステンボス、九十九島（ドローン）を合わせた動画 15 秒
始発から終電まで 14 分に 1 度の再生

②JR 西日本 J-AD ビジョン WEST 京阪神サイネージ広告

場 所：5 駅（大阪駅、新大阪駅、天王寺駅、京都駅、三ノ宮駅）10 エリア※204 面
期 間：令和元年 7 月 1 日～7 月 7 日
内 容：ハウステンボス、九十九島（ドローン）を合わせた動画 15 秒
6：00～24：00 まで 6 分に 1 度の再生

③タクシー広告 D i D i TV 広告

場 所：東京、大阪、名古屋など主要都市圏の、D i D i TV を導入している
タクシー車内
期 間：令和 2 年 2 月 24 日～3 月 1 日
内 容：ハウステンボス、九十九島（ドローン）を合わせた動画 60 秒
乗車後再生、全ての広告終了後再度開始
総再生回数：332,872 回

(4) 香港 KOL 招聘

- ・香港で人気のユーチューバー「POMATO」招聘、YouTube 動画制作（2 本）と OTA サイト KLOOK での情報発信

<1 本目>

タイトル：【小薯茄去旅行】長崎短期之旅 JP（上）

公 開 日：令和元年 12 月 24 日

視聴回数：196,839 回（4/14 時点）



<2 本目>

タイトル：【小薯茄去旅行 】長崎短期之旅 JP（最後一集）

公開日：令和2年1月2日

視聴回数：115,943 回（4/14 時点）



※KOL（Key Opinion Leader）とは

台湾のマーケティング業界で、販売促進に影響を持つ専門家や権威をKOLと呼んでいる。元々は製薬業界や医師、研究者等を指してKOLと呼称していたが、近年のSNSの普及により、容易に情報などを多くの人々に促すことができるインフルエンサーが登場し、その中でも特定の専門領域を持ったインフルエンサーを中華圏のマーケティング業界ではKOLマーケティングと呼ぶようになった。（出典：GHOLD）

5 印刷物事業

決算 6,898 千円 予算 6,810 千円／内、3,843 千円広告収入（執行率 101.3%）

観光に訪れたお客様の利便性、満足度を高め、市内周遊、消費拡大の促進を目的に配布するパンフレットの制作を行った。

タウンガイド vol.31

(1) 佐世保タウンガイド

佐世保のグルメや宿泊施設などタウン情報をまとめたパンフレットの制作。

制作部数：40,000 部



(2) 佐世保バーガーマップ

「佐世保バーガー」の提供店舗を掲載したマップの印刷。

制作部数：70,000 部

バーガーマップ



(3) 市街地マップ

佐世保市内の中心市街地マップを印刷

制作部数：40,000 部

6 「世界で最も美しい湾、九十九島」PR事業（委託）

決算 6,724 千円 予算 6,724 千円（執行率 100%）

平成30年4月、九十九島湾がフランスに本部を置く国際NGO「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定されたことから、クラブのブランド力を活用して「世界で最も美しい湾、九十九島」を発信することにより、九十九島の認知度向上と九十九島ブランドの定着を図るための宣伝活動を行った。

(1) 国内加盟湾連携広告出稿事業

①「世界で最も美しい」湾LOVEキャンペーン実施

（サイト、チラシ制作、募集、結果発表、賞品発送、ポスター制作）

キャンペーン期間：令和元年12月1日～令和2年1月31日

応募作品数：123 作品（WEB応募）

②九十九島湾受賞作品（結果発表：令和2年3月3日）

〈賞〉「タイトル」・・・（ペンネーム / 在住）※入賞：順不同

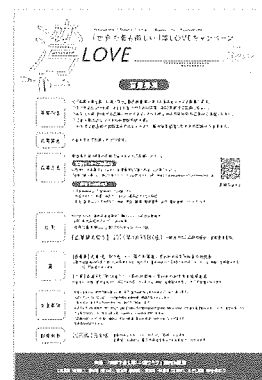
- 〈優秀賞〉「タコクラゲ」・・・(まりまりも / 神奈川県横浜市)
 〈入賞〉「父との九十九島湾」・・・(りなってい / 和歌山県和歌山市)
 〈入賞〉「嬉し恥ずかし九十九島」・・・(酒飲みおばちゃん / 佐世保市)
 〈入賞〉「あの日の九十九島」・・・(くう / 佐世保市)

③制作物（九十九島湾分）

〈告知用チラシ※デザイン、印刷〉

仕 様：A4 サイズ、カラー4+4

枚 数：3,000 枚



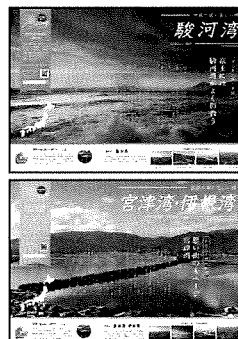
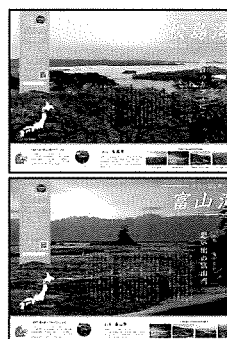
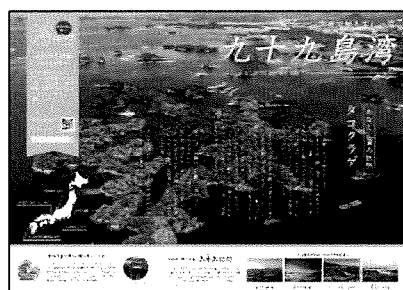
〈各種バナー、ランディングページ〉

ランディングページは海風の国 HP 内に制作

〈九十九島湾ポスター※デザイン、印刷〉

仕 様：B2 サイズ横、カラー4+0

枚 数：200 枚



(2) 専門雑誌等出稿事業

①湾クラブ認定特別番組制作

番組名：「楽しさ満載！再発見！世界に誇る九十九島湾」（テレビ長崎）

放送日：令和元年 10 月 8 日 19：00～19：55

②培倶人ラリー帳 2020 企画（2 月号特別付録） 広告出稿

全国 15 カ所をバイクで巡るラリー帳。そのうちの 1 カ所として九十九島（長串山公園）を掲載。

発行日：令和元年 12 月 27 日

部 数：150,000 部

③培倶人 3 月号広告出稿（雑誌/WEB）

発行日：令和 2 年 2 月 1 日

部 数：150,000 部

WEB 掲載日：令和 2 年 2 月 20 日

④KyushuWeekenderVol. 2 広告出稿（雑誌/WEB）

発行日：令和 2 年 3 月 30 日

部 数：40,000 部

WEB 掲載日：令和 2 年 3 月 31 日



(3) 九十九島印刷物事業

①世界で最も美しい湾、九十九島ポスター増刷

部 数：400 枚

湾クラブリーフレット

②九十九島パンフレット増刷・湾クラブリーフレット制作（日本語/英語）

九十九島パンフレット増刷：40,000 部

湾クラブリーフレット：日本語 10,000 部/英語 10,000 部

(4) ノベルティ制作事業

①世界で最も美しい湾、九十九島 PR ツール（クリアファイル）制作

仕 様：A4 クリアファイル

部 数：2,000 枚

②世界で最も美しい湾、九十九島ノベルティ制作業務

トートバッグ制作

数 量：1,200 個



トートバッグ

7 佐世保鎮守府 130 年記念事業（委託）

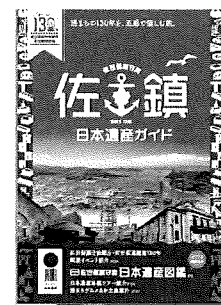
決算 5,797 千円 予算 5,797 千円（執行率 100.0%）

令和元年度は、佐世保鎮守府設置 130 周年の記念の年にあたり、

「日本遺産“佐世保鎮守府”開庁・佐世保港開港 130 年記念事業」と連携したプロモーション活動を行うことで、日本遺産「鎮守府」を通じた佐世保の認知度向上を図ると共に、更なる観光客の誘致を行った。

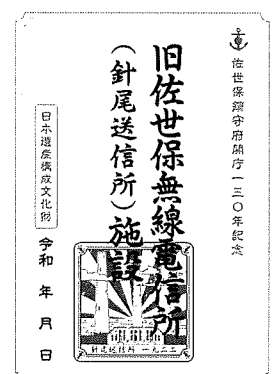
(1) 日本遺産“佐世保鎮守府”開庁・佐世保港開港 130 年記念 PR パンフレットの作成

- ・制作部数：10,000 部
- ・サ イ ズ：A5 版（色：フルカラー）
- ※港まちグルメ特典付き



(2) 日本遺産“佐世保鎮守府”開庁・佐世保港開港 130 年記念 PR ポスターの作成

- ・制作部数：100 部
- ・サ イ ズ：B2 版（片面印刷、色：フルカラー）
- ・紙 質：コート紙 135 k g
- ・納 品 日：令和元年 6 月 26 日



(3) 日本遺産を巡る護守印帳の制作

- ・制作部数：20,000 部
- ・サ イ ズ：A5 版（色：フルカラー）
- ・ページ数：16P 以上
- ・紙 質：マットコート 90 k g
- ・納 品 日：[初回分]令和元年 6 月 26 日 10,000 部

(4) 日本遺産「佐世保鎮守府」開庁・佐世保港開港 130 年記念に係る情報発信

① 紙媒体等を活用した情報発信

都市部に暮らす地域への関心の高い層、旅への関心の高い層（含む「歴史ファン」等）に対し、広く佐世保の「鎮守府」の認知度向上と誘客を図った。

a. 歴史街道（8月号）

- ・発行日：令和元年 7 月 5 日
- ・発行部数：48,100 部
- ・ページ数：カラー 3P（記事 2P+広告 1P）

b. サライ（8月号）

- ・発行日：令和元年 7 月 10 日
- ・発行部数：100,000 部
- ・ページ数：カラー 2P

(5) 日本遺産「鎮守府」を活用した旅行商品企画造成

日本遺産「鎮守府」の構成資産を周遊する旅行商品を造成し、認知度向上と集客対策に取り組んだ。

① 市民向けツアー

a 日本遺産周遊バスツアー

- ・催行日：令和元年 7 月 27 日、28 日、8 月 3 日、4 日、10 日、11 日、25 日、31 日
※全日 午前便/午後便あり
- ・訪問先：針尾送信所、浦頭引揚記念館、無窮洞、梅ヶ枝酒造
- ・実績：365 名

b 佐世保鎮守府バスツアー

- ・催行日：令和元年 8 月 1 日、22 日
- ・訪問先：西九州倉庫、SSK構内、弓張展望台・砲台跡
- ・実績：151 名

② メディア向けプレスツアー

a 佐世保プレスツアー

- ・催行日：令和元年 8 月 1 日～2 日
- ・訪問先：軍港クルーズ、針尾送信所、海軍さんの散歩道ツアー
- ・実績：メディア関係者 12 名

③ エージェントタイアップ

- a 読売旅行「佐世保・平戸・松浦 よみうり七夕納涼祭 2 日間」
- ・催行日：令和元年 7 月 27 日～28 日
- ・訪問先：旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館、海上自衛隊艦艇見学
- ・実績：419 名

(6) その他

① コラボグルメ

a ランチパック「ビーフシチュー」

- ・販売期間：令和元年 7 月 1 日～9 月 30 日
※ 1 ヶ月の販売期間延長
- ・販売エリア：九州・下関
- ・販売実績：118,974 個
- ・メーカー：山崎製パン株式会社（福岡工場）



b 佐世保ビーフシチュー風コロッケ

- ・販売期間：令和元年 7 月 1 日～（8 月に追加生産し現在も販売中）
- ・生産数量：初回生産 90,000 個（10 月末完売）、追加生産約 90,000 個
- ・メーカー：株式会社味のちぬや
- ・販売店（エリア）：エレナ全店（長崎・佐賀）、佐世保四季彩館、柿安ダイニング
マミーマート（埼玉を中心とした 80 店舗）
- ・イベント：「ふるさと甲子園」令和元年 8 月 24 日 360 個販売
「旧軍港四市グルメ交流会」令和元年 11 月 16 日、17 日 480 個販売
- ・今後の販売予定：令和 2 年 5 月より全国のイオンのご当地コロッケ企画にて販売予定。
※ご当地コロッケ企画は 2 ヶ月に 1 回 1 週間開催。調理済み総菜 1 個売りのみ。

② 第 5 回全国ふるさと甲子園ブース出展

- ・日程：令和元年 8 月 24 日（1 部：10 時～14 時/2 部：15 時～19 時）
- ・場所：秋葉原アキバ・スクエア（UDX2 階）
- ・ブース：佐世保鎮守府開庁 130 年 × 艦隊これくしょん

（佐世保鎮守府 130 年×艦これイベント PR、パンフレット配布、コロッケ、開港ロール販売）

- ・出展数：全国 55 地域
- ・来場者：3,062 名（有料入場者数）
- ・運営事務局：ロケーションジャパン編集部

8 「黒島の集落」集客対策事業（委託）

決算 4,344 千円 予算 4,344 千円（執行率 100.0%）

「黒島の集落」を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産へ登録され

たことから、マスメディアによる情報発信により構成資産全体の認知度の向上並びに、島の魅力の情報発信及び集客対策を行った。

- (1) 【佐世保・黒島×リアル宝探し「祈りの島の隠れ財宝」】の実施
イベント実施期間：令和元年8月1日～10月31日
発見報告者数：688名（総参加者数726名）
※宝を発見できなかった人：38名



9 その他PR関連事業（委託）

◆第69回長崎県公民館大会佐世保大会用ツール制作業務

決算 568 千円 予算 568 千円（執行率 100.0%）

佐世保市（社会教育課）より、佐世保市で開催される予定であった長崎県公民館大会に使用するツール等のデザイン制作業務について受託した。

〈制作物〉紙袋：1,000部 封筒：1,500部 大会誌：1,500部
デザインのみの制作（台風の接近により大会が中止となったため）

◆観光PR用名刺台紙制作業務

決算 592 千円 予算 592 千円（執行率 100.0%）

佐世保市（観光課）より、観光PR用名刺台紙制作業務を受託した。

〈制作物〉【7月制作】・湾クラブ（3種）44,800枚 ・九十九島（2種）20,000枚
【3月制作】・佐世保観光イラスト 10,000枚 ・九十九島（2種）30,000枚
・湾クラブ 20,000枚

10 国内観光誘致事業

決算 5,092 千円 予算 4,950 千円／内、2,615 千円がチケット収入（執行率 102.9%）

大手旅行会社の商品造成を促進するため、パンフレット協賛・販売奨励金による施策を行った。また、主要都市で開催される観光素材説明会や商談会への参加やセールス活動をとおして誘客促進を図り、当協会においても魅力的な着地型商品を企画し、観光客誘致と滞在時間の拡大に努めた。

(1) セールス活動事業

九州観光推進機構主催の観光情報説明会に参加し、各旅行会社商品企画担当者へ最新の観光

素材のPRなど宿泊に繋がる素材提供を行い、合わせて関東・関西・中部・九州の旅行会社へのセールス活動を実施し、商品企画担当者に対し佐世保の観光素材をPRして、旅行商品の造成を促進した。

また、長崎県観光連盟と連携した観光情報説明会では、旅行会社からの送客につなげるため最新の観光情報の提供を行い、商品造成を促した。

① 九州観光推進機構主催 令和元年度観光素材説明会

a 令和元年度下期観光素材説明会

東京地区（4/25、参加者旅行会社 218 名、メディア 21 名）

名古屋地区（5/15、参加者旅行会社 109 名）

広島地区（5/23、参加者旅行会社 47 名、メディア 4 名）

大阪地区（5/24、参加者旅行会社 97 名、メディア 2 名）

福岡地区（5/29、参加者旅行会社 154 名、メディア 11 名）

b 令和2年度上期観光素材説明会

東京地区（9/4、参加者旅行会社 168 名、メディア 12 名）

大阪地区（9/13、参加者旅行会社 167 名、メディア 9 名）

名古屋地区（9/11、参加者旅行会社 70 名）

福岡地区（9/25、参加者旅行会社 137 名、メディア 13 名）

② 長崎県観光連盟主催 観光情報説明会

令和元年度長崎県観光情報説明会

五島市にて開催（10/7、参加旅行会社 30 社）

(2) 旅行会社等とのタイアップ事業

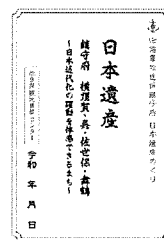
関西地域の個人旅行造成を行う主要旅行会社に対し、佐世保への宿泊を伴う旅行商品造成及び販売促進のため、特典協賛を行った。またF I T向けの旅行会社向け素材として好評を得ている「SASEBO港まちグルメチケット（2種）」を制作した。

① 関西地域 主要旅行会社への特典協賛

佐世保市内の周遊促進を図るため、市内へ宿泊したお客様へ「130年記念日本遺産護守印めぐり（護守印帳）」を活用した特典協賛を行った。

特典活用実績：4 社

（条件：パンフレット誌面へ特典情報及び佐世保市の観光情報の掲載）



SASEBO 港まちグルメチケット

佐世保バーガーやレモンステーキなど、佐世保を代表する人気グルメをお得に楽しむことができるチケットを制作した。

- ・佐世保バーガー編 1,000 円 (R1 利用枚数 2,033 枚)
- ・レモンステーキ&海軍さんのビーフシチュー&バー編 2,000 円 (R1 利用枚数 2,627 枚)

(3) その他活動

① 阪急交通社 「ゆふいんの森」号チャーターお出迎え

佐世保の観光パンフレットや九十九島の湾クラブへの登録チラシ、九十九島せんぺいを配布し、PRを行った。

日 時：令和元年5月8日

乗客数：往路127名、復路30名

② JR九州主催「令和2年度上期 商品造成説明会」受入

JR九州主催で令和2年度上期の商品造成に向けた説明会及び現地エクスカーションが実施され、エクスカーションで三川内焼の絵付体験の受入れを行った。

日 時：令和元年11月5日～6日

③ コスモヘルスモニターツアー 受入

地域ガイドとめぐるゆったり・ゆっくり佐世保旅をテーマに、医療器具メーカー株式会社コスモヘルスが刊行している会報誌に掲載するツアー造成にかかるモニターの受入を行った。JTB主催の会員限定募集ツアーが令和2年10月に設定された。

日 時：令和2年3月12日～13日

1.1 コンベンション誘致事業

決算 1,426 千円 予算 1,800 千円 (執行率 79.2%)

学会、大会運営団体等の事務局などへの訪問や、旅行会社の商談会へ参加し、誘致のためのセールス活動を行った。

また、助成金制度やその他支援策の案内、アフターコンベンション用の観光素材のPRなどを行った。なお、3月に予定していた佐世保コンベンション誘致説明会はコロナウイルス感染拡大の防止の観点から中止した。

■令和元年度 学会・大会の開催支援実績（開催助成金実績含む）

	令和元年度	平成30年度	前年比
開催支援件数	28 件	23 件	121.7%

(1) 誘致セールス活動

① KNT-CTホールディングス㈱主催 国内大交流コンベンション参加

着地型商品造成・地域イベント、教育旅行、インバウンド（訪日）、企業団体・MICE等の担当者と商談会を行った。

日 時：令和元年7月11日

場 所：ベルサール秋葉原（東京）

② 佐世保コンベンション誘致説明会案内配布

コンベンション誘致説明会の実施にあたり、長崎市内の学会、大会運営事務局を訪問し、参加案内を行った。

日 時：令和2年2月4日

場 所：長崎市内

訪問先：85件

(2) その他誘致事業

① 九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会総会参加

日 時：令和元年11月7日～8日

場 所：福岡市

参加数：16団体

② 九州地区コンベンション推進団体連絡会担当学会議参加

日 時：令和2年2月12日

場 所：那覇市

参加数：13団体

(3) 参加者用パンフ等支援品制作事業

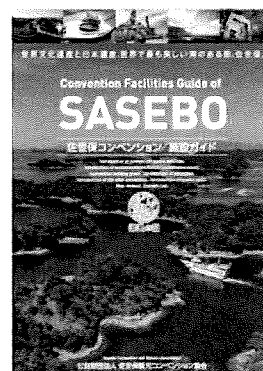
① 令和元年度版観光施設割引券（改訂）

制作数：7,000部



② コンベンション誘致用ガイドブック（改訂）

制作数：500部



12 コンベンション開催助成金交付事業

決算 4,550千円 予算 6,100千円（執行率74.6%）

学術大会や会議などを開催することにより、当地に経済的な波及効果をもたらし、観光振興や地域の活性化を図ることを目的に、本市での開催に優位性をもたらせるため、助成金を交付した。

■令和元年度 学会・大会の開催助成事実績と推移

	令和元年度		平成 30 年度		平成 29 年度
	実績 / 対前年		実績 / 対前年		実績
助成件数	15	228.5%	7	58.3%	12
宿泊人数	5,564	435.1%	1,279	17.3%	7,364

[参 考]コンベンション開催助成金の交付大会

- ・エヌエヌ生命「特別研修プログラム」
開催日：令和元年 5 月 16 日～17 日
宿泊数：118 人
場 所：ハウステンボス
- ・一般社団法人九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会総会
開催日：令和元年 5 月 31 日
宿泊数：147 人
場 所：ホテルオークラ JR ハウステンボス
- ・J R 九州労組第 28 回定期大会
開催日：令和元年 7 月 10 日～11 日
宿泊数：199 人
場 所：ホテルオークラ JR ハウステンボス
- ・OSCAR 長崎大会
開催日：令和元年 7 月 11 日～13 日
宿泊数：270 人
場 所：ハウステンボス
- ・ユニマックス特約店会総会
開催日：令和元年 7 月 19 日～20 日
宿泊数：106 人
場 所：ホテルオークラ JR ハウステンボス
- ・全国バス事業第 28 回労使懇談会
開催日：令和元年 7 月 23 日～25 日
宿泊数：143 人
場 所：九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス
- ・第 40 回全国保育集会
開催日：令和元年 7 月 26 日～27 日
宿泊数：1,047 人
場 所：アルカス SASEBO
- ・日本生物学オリンピック 2019
開催日：令和元年 8 月 15 日～18 日
宿泊数：401 人
場 所：長崎国際大学

- ・第 24 回登校拒否・不登校問題 全国のつどい in 長崎
開催日：令和元年 8 月 31 日～9 月 1 日
宿泊数：239 人
場 所：九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス
- ・第 56 回九州地区肢体不自由教育研究大会 長崎大会
開催日：令和元年 10 月 16 日～17 日
宿泊数：218 人
場 所：アルカス SASEBO
- ・第 22 回コンピューターセキュリティシンポジウム
開催日：令和元年 10 月 21 日～24 日
宿泊数：1,529 人
場 所：ハウステンボス
- ・みちづくし in 佐世保 2019
開催日：令和元年 10 月 25 日～26 日
宿泊数：100 人
場 所：アルカス SASEBO
- ・第 67 回西日本都市監査事務研修会
開催日：令和元年 11 月 14 日～15 日
宿泊数：395 人
場 所：アルカス SASEBO
- ・2019 年度精密工学会中国四国支部・九州支部
開催日：令和元年 12 月 14 日
宿泊数：138 人
場 所：佐世保工業高等専門学校
- ・日本商工会議所青年部令和元年度役員会及び令和 2 年度役員予定者会
開催日：令和 2 年 1 月 24 日～25 日
宿泊数：514 人
場 所：アルカス SASEBO

1 3 修学旅行誘致事業

決算 867 千円 予算 927 千円 (執行率 93.5%)

文部科学省の学習指導要領の変更に伴い、修学旅行の体験プログラムを活用し、生徒たちが主体的に参加して仲間と深く考えながら課題を解決する力を養う場が盛り込まれることとなったことから、新たなアクティブラーニングプログラム造成にかかる情報収集及び関係各所との意見交換等を実施した。

また、長崎県観光連盟や宿泊施設と連携し、北信越・中部地区の学校や旅行会社に対して誘致セールスを実施し、当地の体験メニューやプログラムを提案し、積極的に誘致活動を行った。

(1) 誘致セールス活動・旅行会社・学校訪問

①佐世保観光コンベンション協会主催

・福井県・石川県の旅行会社、公立高校訪問

期 間：令和元年 6 月 25 日～27 日

訪問数：32 箇所

・岡山県・広島県・奈良県の旅行会社、公立中学校訪問

期 間：令和元年 8 月 29 日～31 日

訪問数：44 箇所

(2) その他

①第 1 回修学旅行受入協議会

佐世保市内の観光施設・宿泊施設が参加し令和元年度のセールス訪問先等を決めた。

開催日：平成 31 年 4 月 23 日

②第 2 回修学旅行受入協議会

佐世保市内の観光施設・宿泊施設及び佐世保市観光課、県北振興局が参加し、令和元年度に実施したセールス状況の報告及び令和 2 年度の修学旅行セールス訪問先の検討、修学旅行新規校誘致施策事業の要綱の見直しを行った。

開催日：令和 2 年 3 月 19 日

③九州観光推進機構主催 旅行社招聘

九州観光推進機構が主催する西日本地区を中心としたエリアの教育旅行担当者説明会に参加し、本市の教育プログラム及び助成金について説明を行った。

日 時：令和 2 年 2 月 26 日

参加者：24 名

④教育旅行体験プログラム（改定）

部数：ガイドブック 1,000 部

チラシ 400 部



■修学旅行における宿泊校と人数の増減

区分	令和元年度		平成 30 年度		前年比			
	宿泊校	人数	宿泊校	人数	宿泊校		人数	
小学校	191	14,764 人	207	15,955 人	△16	92.3%	△1191 人	92.5%
中学校	175	14,153 人	142	18,561 人	33	123.2%	△4,408 人	76.3%
高 校	254	38,605 人	179	35,602 人	75	141.9%	3,003 人	108.4%
合 計	620	67,522 人	528	70,118 人	98	117.4%	△2,596 人	96.3%

14 修学旅行新規校誘致施策事業

決算 964 千円 予算 1,134 千円 (執行率 85.0%)

全国の中学校・高等学校の新規修学旅行に対し、佐世保市内での宿泊利用促進を目的とした助成金（1,000 円×宿泊人数：先生・生徒の延べ人数）を交付した。

■令和元年度実績／平成 30 年度：5 校 1,112 人、1,112,000 円

学校名	日程	宿泊者数	助成金額	宿泊施設
姫路市立菅野中学校	4/23～4/24	63 人	63,000 円	ホテルオークラ J R H T B
大阪府立泉北高等支援学校	9/25～9/27	174 人	174,000 円	ホテルフラッグス九十九島
石川県立寺井高等学校	9/26～9/27	161 人	161,000 円	ホテルオークラ J R H T B
石川県立小松商業高等学校	10/1～10/4	164 人	164,000 円	西海橋コラソンホテル
大阪市立住吉商業高等学校	10/30～11/1	402 人	402,000 円	ホテルフラッグス九十九島
合 計	5 校	964 人	964,000 円	

15 国際観光誘致事業

決算 9,921 千円 予算 12,792 千円 (執行率 77.6%)

重点地域である東アジア、次重点国である東南アジアからの訪日観光客の誘致を図るため、日本政府観光局（JNTO）、九州観光推進機構、長崎県観光連盟及び観光施設や宿泊施設、交通事業者と連携して、各国の観光誘致セミナー商談会への参加やプロモーション活動、国内で開催されるインバウンド商談会に積極的に参加し、本市の観光素材の情報を提供した。

(1) 情報発信事業

①繁体語圏向け 観光情報サイト「樂吃購(ラーチーゴー)！」を活用した情報発信

主に台湾で周知されている日本の観光情報に特化したウェブサイト「樂吃購(ラーチーゴー)！」のライターを招聘し、佐世保の取材を実施、観光情報の記事を掲載した。

記事ビュー数：13,043 回

②香港 K O L の招聘と情報発信

ハウステンボス、九十九島パールシーリゾートと連携し、香港 KOL「POMATO」を招聘し、YouTube での動画配信を実施した。九十九島 P R 事業と費用按分。

③香港 F I T 向け二次交通紹介映像撮影および制作

各種交通手段を使って、主要地点から観光地への行く方法を紹介する動画を撮影。

撮影期間：令和元年 10 月 17 日～24 日

動 画 数：17 本×2 種

対象言語：英語、中国語（繁体字）

※FIT (Foreign Independent Tour) とは

団体旅行やパッケージツアーを利用することなく個人で海外旅行に行くこと。Foreign Independent Tour の頭文字の略。Free Individual (Independent) Traveler ともいう。1964 (昭和 39) 年の海外観光旅行自由化以降しばらくの間、海外旅行はパッケージツアーや団体旅行で行くことが多かった。しかし、海外旅行の経験者が増えるに従い旅行目的も多様化し、不特定多数を対象としたパッケージツアーなどではなく、自分の目的に合わせた旅行をしたいという要望が高まり FIT が増えてきた。
(出典：JTB 総合研究所)

④香港等FIT向けWEBメディア「LIKE JAPAN」

訪日旅行オンラインメディア「LIKE JAPAN」を使い観光紹介記事に交通アクセス動画を添付して佐世保の情報を発信した。

撮影期間：令和元年 11 月 11 日～14 日

掲載数：ウェブサイト (1 件)、フェイスブック (2 件)、YouTube (2 件)、
Instagram インフルエンサー (1 件)

視聴数：PV 数 (5,622 回)、フェイスブック (リーチ数：254,424 回、145,748 回)、
YouTube (再生回数：901 回、779 回)、インフルエンサー (いいね：4,258 回)

⑤SNSを活用した情報発信

ソーシャルネットワークを活用し、各重点国向けに市内の観光情報及び旬の情報などの記事投稿や広告発信を行った。

a 中国向け WEIBO

投稿回数：91 回 (※うち広告配信 15 回)

b 韓国向け Instagram

投稿回数：97 回

c 香港・台湾向け Facebook・Instagram

投稿回数：Facebook (53 回 ※うち広告配信 16 回)

Instagram (89 回)

(2) 誘致営業活動及び受入

① 中国

a 大分県・佐賀県・福岡県・佐世保市連携事業中国 FIT ハイエンド小グループ対策事業
にかかる現地商談会及び旅行会社セールス

日時：令和元年 11 月 19 日～22 日

参加者：18 社

訪問数：15 社

② 韓国

a 2019 VISIT JAPAN 韓国市場説明会・相談会及び釜山セールス

日 時：令和元年 6 月 4 日～6 日

参加者：旅行社 34 社、ランド社 33 社、OTA11 社、メディア 10 社

訪問数：2 社（釜山）

③ 台湾

a 長崎県観光情報説明会（台北）

日 時：令和元年 10 月 21 日

参加者：36 社、45 名

④ 香港

a 第 33 回香港国際旅游展覧会（ITE）出展

日 時：令和元年 6 月 13 日～16 日

場 所：香港コンベンション&エキシビション・センター

b 香港政府観光局、マカオ政府観光局主催香港・マカオアップデートセミナー長崎参加

日 時：令和元年 7 月 30 日

内 容：現地観光情報、現地航空会社情報

c インバウンド対策に関するアドバイザー設置事業（レップ）実施

内 容：香港市場における市場調査

（セールス活動は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

d 長崎県観光連盟主催 Go Japan 長崎県取材受入

日 時：令和元年 12 月 4 日～5 日

内 容：Go Japan 雑誌での情報発信

⑤ その他日本国内での活動

a 九州観光推進機構主催 ベトナム・マレーシア旅行会社を対象とした相談会

日 時：令和元年 6 月 27 日

参加者：7 社

b 長崎県観光連盟連携 フランスメディア招聘受入

期 間：令和元年 9 月 6 日～7 日

内 容：KOL ブログ発信

c VISIT JAPAN Travel Mart 2019 -ASEAN・INDIA-参加

日 時：令和元年 11 月 27 日～28 日

場 所：名古屋市（愛知国際展示場 Aichi Aky Expo）

参加者：商談 18 社（タイ 4 社、マレーシア 4 社、シンガポール 3 社、インドネシア
2 社、ベトナム 4 社、インド 1 社）

(3) インバウンド・品質管理ワーキンググループ

① インバウンド受入協議会／インバウンド・品質管理ワーキンググループ

・第1回インバウンド・品質管理ワーキンググループ

日 時：令和元年9月9日

内 容：令和元年年度事業実施進捗報告、令和2年度実施内容検討

16 訪日外国人誘致事業

決算 1,183 千円 予算 1,400 千円 (執行率 84.5%)

訪日旅行者の旅行形態やニーズに合わせた誘客のための広報・宣伝活動を行う事業として、広範囲な国からの訪日客の誘客に利用できる効果的な場を活用し、当地への来訪客の多い国や今後來訪が期待できる国からの観光客誘致を含めセールスプロモーションを実施した。

(1) 旅行会社等タイアップ

① 韓国 (CBS 社)

韓国の放送会社 CBS と連携し、CBS 日本殉教地巡礼ツアーの受入を行った。

日 程：令和元年7月2日～3日

内 容：日韓文化交流会一日韓米合唱祭 (アルカス SASEBO)、オリーブ植樹等

② 大分県・佐賀県・福岡県・佐世保市連携事業 中国 FIT ハイエンド小グループ対策

大分県、佐賀県、福岡県と連携し、中国の FIT ハイエンド小グループ対策として、推奨ルート作成、中国本土の旅行会社への九州商品の造成意欲のヒアリング及び上海の旅行会社を中心とした現地商談会・セールスを実施した。

17 西九州させば広域都市圏連携事業

決算 27,752 千円 予算 33,150 千円 (執行率 83.7%)

(1) インバウンド連携

① 観光コンテンツ抽出整理・セールスツール作成

令和2年度より広域都市圏を訴求、連携した海外セールス活動を開始するにあたり、外国人観光客に興味を引く広域都市圏11市町の観光コンテンツの抽出、整理を行った。

その観光コンテンツを掲載したセールス、プロモーション用ツールとして東アジアの国々が好むデザインを意識した中文のデジタルパンフレットを作成した。



(2) 観光マーケティング連携

① N T T ドコモ 広域連携周遊マーケティング調査

N T T のモバイル空間統計を使用した訪日外国人の西九州広域圏内の「周遊分析」および S N S 分析を実施した。西九州させば広域都市圏の各自治体で情報共有し、令和 2 年度以降のインバウンド誘致における広域連携事業計画策定の資料として使用した。

- a 西九州広域周遊調査（データ収集期間：平成 30 年 9 月～令和元年 8 月末）
- b 外国人滞在状況、外国人他都市訪問状況、外国人出入国空港港湾状況
- c S N S 分析
 - ・トリップアドバイザー調査（データ収集期間：平成 26 年 1 月～令和元年 10 月末）
施設ごとの評価点、投稿施設から見た周遊状況
 - ・インタグラム調査（データ収集期間：令和元年 6 月～令和 2 年 1 月末）
投稿画像分析、テキストによるワード・ハッシュタグ分析

② 来訪者満足度調査

広域連携 11 市町の主要観光 31 地点において、来訪者の満足度調査を実施した。

- a アンケート調査員 24 名
- b アンケート調査データ集計・分析（株式会社アンド・ディ）
 - ・各市町それぞれの来訪者満足度、再来訪意向、観光消費額等の集計データ
 - ・各市町、対比データ（街の印象・満足度・消費額等のデータ）による分析

1 8 クルーズ船受入対策事業

決算 11,737 千円 予算 15,160 千円（執行率 77.4%）

クルーズ客船乗船者への市内周遊促進と歓送迎おもてなしの事業を展開した。
初入港に合わせた歓迎式典や着ぐるみによるお出迎え、様々な送迎イベントを実施した。

(1) 入港実績

入港隻数：69 隻（うち、7 隻初入港）

乗 客 数：176,777 人 乗組員数：53,964 人 合 計：230,741 人

(2) 歓送迎イベント

① 入港時歓迎イベント

- a 入港時
 - ・着ぐるみお出迎え 29 回（夏季除く）

b 停泊中

- ・観光案内所設置 72回（うち、3回はオーバーナイトステイ）
- ・特産品等の売店設置

c 出港時

- ・送迎イベント 45回（21時以前出港が対象）
黄色いハンカチまたはペンライトを振りながら市民によるお見送り。
地元団体による演奏やダンスパフォーマンス等を行った。

② 初寄港セレモニー等 7回

- （例）・市長あいさつ、来賓（議長）あいさつ ・佐世保市及び佐世保市議会記念品贈呈
・させば観光大使花束贈呈 ・船長あいさつ ・祝いの鏡開き、ふるまい

19 着地型観光ニーズ創出事業

決算 1,228 千円 予算 1,425 千円（執行率 86.2%）

来訪客に対し、地域特性を生かした着地型旅行商品の造成、販売による滞在、周遊型の旅の推進となるための商品造成・販売を行った。また造成した着地型旅行商品を商談会やセールス活動を通じ旅行会社に提供できるよう、既存プランの見直しなども行い、新たなニーズの掘り起しに努めた。

(1) 着地型商品の企画・造成・販売

日本遺産や世界文化遺産に関連する個人向け着地型商品の企画・造成を行った。

① SASEBO ウォーキングツアー（着地型商品企画・造成）パンフレット制作

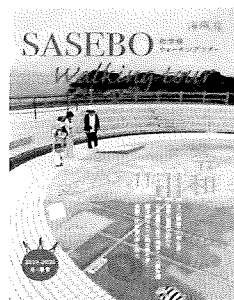
令和元年10月～令和2年3月実施の旅行商品企画・造成・販売を行った。

- ・商品掲載数：7件
- ・パンフレット：3,000部制作

② 佐世保の旅プラン（定番商品掲載）パンフレット制作

令和2年1月から実施の定番の着地型商品の企画・造成・販売を行った。

- ・商品掲載数：16件
- ・パンフレット：10,000部制作



(2) 旅行商品の広告宣伝

北部九州エリアからの集客へ向けて新聞広告掲載を行った。

※別事業、観光コンテンツ発信事業と連携

〔掲載内容〕

- | | |
|-------------------|---|
| ・西日本新聞（全九州版） | 掲載日：8/3（土） |
| ・西日本新聞（北部九州版） | 掲載日：1/18（土） |
| ・読売新聞 1 回目（北部九州版） | 掲載日：福岡版 1/19（日）、筑後版 1/23（木）、
長崎版・佐賀版 1/21（火）、
白黒長崎版（白黒特典掲載）1/1（水・祝） |
| ・読売新聞 2 回目（北部九州版） | 掲載日：福岡版 2/7（金）、筑後版 2/7（金）
長崎版・佐賀版 2/11（火・祝）、
長崎版（白黒特典掲載） 2/7（金） |
| ・長崎新聞（長崎県内版） | 掲載日：1/12（日・祝） |
| ・朝日新聞（北部九州版） | 掲載日：1/28（火） |

〈自主事業の部〉

20 旅行事業

地域のプラットフォーム機能として、ワンストップ窓口の充実と地域のゲートウェイ機能として、新たな旅行商品の開発と滞在型旅行プランの提供により事業の展開を図った。

① 旅行商品販売事業

- | | | |
|----------------|------|---------------------------|
| ・募集型企画旅行 | 利用者数 | 令和元年度 552 人（前年 799 人） |
| ・企画・手配旅行 | 取扱件数 | 令和元年度 6 件（前年 5 件） |
| ・市内路線バス 1 日乗車券 | | 令和元年度 1,498 枚（前年 3,512 枚） |
- ※H30 は市営バス運行（H30.12 月まで）

※ほか、長崎県立美術館・イベントチケットなど

② 観光バス事業

クルーズバス海風	令和元年度 6,542 人（前年 6,812 人）
----------	---------------------------

③ 自社商品販売

HTB・KPS 企画チケット 2 種	令和元年度 4,508 枚（前年 10,756 枚）
--------------------	----------------------------

④ 受託商品販売

SASEBO 軍港クルーズ	令和元年度 8,329 人（前年 7,588 人）（常設 6,065 人、貸切 2,264 人）
---------------	--

⑤ ふるさと納税事業

ふるさと納税返礼宿泊券 令和元年度 4,951 枚（前年 5,422 枚）

※他、お節料理、一部募集型企画旅行（タクシープランなど）など

■旅行事業実績

[単位：円]

旅行事業	令和元年度				平成 30 年度	
	売上	前年比	粗利	前年比	売上	粗利
① 旅行商品販売事業	6,536,268	81.2%	951,983	300.7%	8,044,977	316,572
② 観光バス事業	10,794,196	86.3%	△6,409,551	△442%	12,514,035	△1,450,323
③ 自社商品販売	31,950,100	43.6%	960,292	31.7%	73,286,900	3,031,828
④ 受託商品販売	3,067,170	124.6%	2,372,727	121.6%	2,460,238	1,951,186
⑤ ふるさと納税事業	31,712,200	78.6%	6,981,766	108.7%	40,324,916	6,424,024
⑥ その他	147,691	-	147,691	-	-	-
合計	84,207,625	61.6%	5,004,908	48.7%	136,631,066	10,273,287

[参 考] ①旅行商品販売事業令和元年 4 月～令和 2 年 3 月販売実績

◇募集型企画旅行

プラン名	参加人数
1. SASEBO 港まち歩き	82 名
2. SASEBO ナイトツアー	65 名
3. 海軍さんの散歩道	249 名
4. タクシープラン	118 名
5. 黒島の集落を訪ねる旅	8 名
6. 3 つの最西端を巡るツアー	6 名
7. 英語でまち歩き（日本人向け）	3 名
8. 佐世保ダウンタウンツアー（インバウンド向け）	12 名
9. その他（ふるさと納税）	9 名
合計	552 名

◇手配旅行

団体名	人数
1. 日本遺産周遊バスツアー	365 人（9 回）
2. 佐世保鎮守府バスツアー	151 人（2 回）
3. 日本遺産ウィークバスツアー	151 人（4 回）
4. 大相撲九州場所	29 人（1 回）
5. みちづくしin佐世保（大会）	200 人（2 日間）
6. 海事振興連盟（大会）	102 人（2 日間）
合計	998 人

2 1 物販事業

九十九島Tシャツや佐世保バーガーボーイグッズなど自社商品（オリジナル商品）や地元事業者が企画された佐世保らしい物産品、お土産などの販売に取り組み、観光客の利便性や満足度と収益の向上に努めた。

- ・自社商品 バーガーボーイグッズ、九十九島Tシャツなど
- ・受託商品 G C 1 グランプリカレー、三川内焼、ステーションナリーグッズ、絵葉書など

■物販事業売上実績

[単位：円]

物販事業	令和元年度				平成 30 年度	
	売上	前年比	粗利	前年比	売上	粗利
自社商品販売	1,806,476	88.4%	596,459	91.2%	2,043,789	654,162
受託商品販売	958,628	86.7%	87,687	37.0%	1,105,645	237,304
合計	2,765,104	87.8%	684,146	76.7%	3,149,434	891,466

2 2 駐車場賃貸事業

佐世保中央 I C 高架下（平瀬町）駐車場賃貸事業は、特に平日を中心に満車となり、休日も回転率が高く、令和元年度は例年並みの売上となった。（次ページ表 1 参照）

なお、西九州自動車道 4 車線化工事に伴い、令和 3 年度から駐車場の一時閉鎖が計画されていることから、現在、その対応について市・国・N E X C O 西日本と協議を行っている。

2 3 賛助会員事業

クルーズ船入港時の臨時売店出店希望者やタウンガイド掲載希望者を中心に 14 件の新規入会があった。一方で、退会数は 13 件あった。また、会費の見直しに着手し、会員にご理解とご協力をお願いした。

また、多くの会員の方々のご参加の下、意見交換・交流会を開催し、当協会の事業説明や会員間の情報交換などを行った。

(1) 賛助会員意見交換・交流会の開催

日 時：令和元年 7 月 24 日

意見交換・交流会 18:15～20:00

場 所：富士国際ホテル

参加数：43名



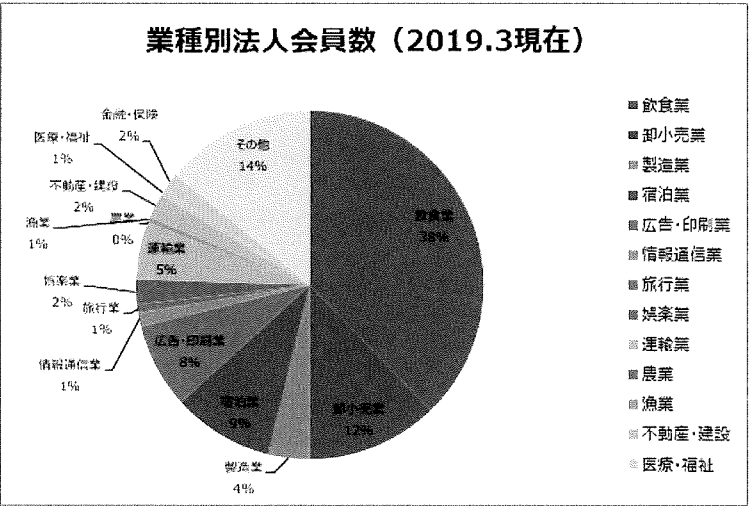
[参考資料 1] 令和元年度賛助会員の動向

	令和元年度	平成 30 年度	増 減
法人会員	392名	390名	2名
個人会員	8名	9名	△1名
合 計	400名	399名	1名

〔参考資料 2〕 賛助会員 会員数：400 団体（個人会員 8 名）

業種別賛助会員数

カテゴリー	会員数	シェア
飲食業	148	37.8%
卸小売業	48	12.2%
製造業	15	3.8%
宿泊業	37	9.4%
広告・印刷業	31	7.9%
情報通信業	5	1.3%
旅行業	3	0.8%
娯楽業	9	2.3%
運輸業	21	5.4%
農業	0	0.0%
漁業	2	0.5%
不動産・建設	9	2.3%
医療・福祉	2	0.5%
金融・保険	7	1.8%
その他	55	14.0%
法人計	392	98.0%
個人	8	2.0%
合計	400	



2 4 観光交流センター賃貸事業

観光交流センター（干尽町）において、佐世保市競輪事業への賃貸および2階事務所の貸出を中心に運営を行った。令和元年度は大きな修繕がなかったため経費減となり、利益率が少し改善した。

表 1 [単位：円]

総務部総務チーム	令和元年度				平成 30 年度	
	売上	前年比	粗利	前年比	売上	粗利
26. 駐車場賃貸収益	13, 441, 400	99. 1%	9, 293, 613	100. 6%	13, 562, 600	9, 239, 111
27. 賛助会員事業	4, 446, 832	101. 8%	4, 126, 220	107. 9%	4, 370, 000	3, 822, 970
28. 受取賃貸料収入 (償却前)	19, 644, 016	97. 4%	6, 705, 011	104. 9%	20, 165, 640	6, 389, 974
合計	37, 532, 248	98. 5%	20, 124, 844	103. 5%	38, 098, 240	19, 452, 055

〈その他〉

2 5 会議報告

(1) 理事会

【第 1 回】開催日：令和元年 5 月 10 日 14:00～16:00

議 題：1. 審議事項

- (1) 平成 3 0 年度事業報告及び決算について
- (2) 評議員の選任について
- (3) 理事の選任について
- (4) 評議員会開催について
- (5) 常務理事の報酬について

2. 報告事項

- (1) 協会（事務局）組織について
- (2) 佐世保市観光統計（速報）について

【第2回】（書面決議）提案日：令和元年5月24日

- 議 題：1. 理事会の決議があったものとみなされた事項
- (1) 理事長・副理事長・常務理事の選定について
 - (2) 評議員会開催及び議題について

【第3回】（書面決議）提案日：令和元年9月11日

- 議 題：1. 理事会の決議があったものとみなされた事項
- (1) 評議員会開催及び議題について

【第4回】開催日：令和2年2月17日 10:00～12:00

- 議 題：1. 審議事項
- (1) 令和2年度事業計画及び予算（案）について
 - (2) 評議員会開催日程及び議題について

(2) 評議員会

【第1回】開催日：令和元年5月23日 14:00～16:00

- 議 題：1. 審議事項
- (1) 平成30年度事業報告及び決算について
 - (2) 評議員の選任について
 - (3) 理事・監事の選任について
2. 報告事項
- (1) 協会（事務局）組織について
 - (2) 佐世保市観光統計（速報）について

【第2回】開催日：（書面決議）提案日：令和元年6月3日

- 議 題：1. 評議員会の決議があったものとみなされた事項
- (1) 評議員の選任について

【第3回】開催日：（書面決議）提案日：令和元年9月24日

- 議 題：1. 評議員会の決議があったものとみなされた事項
- (1) 評議員の選任について

【第4回】開催日：令和2年3月18日 16:00～18:00

- 議 題：1. 審議事項
- (1) 令和2年度事業計画及び予算（案）について

(3) 正副理事長会議

【第1回4月度】日 時：平成31年4月24日 16:00～18:00

議 題：1. 協議事項

- (1) 平成30年度事業報告及び決算見込（案）について
- (2) 理事会議案について

2. 報告事項

- (1) 協会（事務局）組織の変更について
- (2) 賛助会員新規入会について
- (3) 主催・共催・後援・協力・協賛事業について

【第2回6月度】日 時：令和元年6月28日 14:00～16:00

議 題：1. 協議事項

- (1) おもてなし講演会及び賛助会員との意見交換会について
- (2) 賛助会員新規入会について

2. 報告事項

- (1) 令和元年度収益事業報告について
- (2) 主催・共催・後援・協力・協賛事業について

【第3回7月度】日 時：令和元年7月24日 16:00～16:30

議 題：1. 協議事項

- (1) 賛助会員との意見交換会（交流会）の進行について
- (2) 賛助会員新規入会について

2. 報告事項

- (1) 令和元年度収益事業報告について

【第4回8月度】日 時：令和元年8月29日 16:00～18:00

議 題：1. 協議事項

- (1) 賛助会員新規入会について

2. 報告事項

- (1) 評議員の辞任について
- (2) 令和元年度収益事業報告について
- (3) 主催・共催・後援・協力・協賛事業について

【第5回11月度】日 時：令和元年11月19日 14:00～16:00

議 題：1. 協議事項

- (1) 賛助会員新規入会申込みについて

2. 報告事項

- (1) 令和2年度予算要求について
- (2) 令和元年度収益事業報告について
- (3) 主催・共催・後援・協力・協賛事業について

【第6回12月度】日 時：令和元年12月16日 17:00～18:00

議 題：1. 報告事項

(1) 令和元年度収益事業報告について

【第7回1月度】日 時：令和2年1月30日 14:00～16:00

議 題：1. 協議事項

(1) 令和2年度事業計画及び予算（案）について

(2) 賛助会員新規入会について

2. 報告事項

(1) 令和元年度決算見込み（案）について

(2) 令和元年度収益事業報告について

(3) 主催・共催・後援・協力・協賛事業について

【第8回2月度】日 時：令和2年2月17日 11:45～12:00

議 題：1. 協議事項

(1) 賛助会員新規入会について

【第9回3月度】日 時：令和2年3月25日 10:00～11:00

議 題：1. 報告事項

(1) 令和元年度決算見込み（案）について

(2) 令和元年度収益事業について

26 監査実施状況

1. 令和元年5月8日 監事による会計及び業務の監査

27 法人登記変更登記に関する事項

1. 令和元年6月13日 理事・評議員の変更登記

2. 令和元年10月11日 評議員の変更登記

28 役員等に関する事項

令和元年度における役員の就退任の状況は、次のとおりです。

区 分	年度当初	退 任	就 任	年 度 末
理 事	8名	1名	1名	8名
監 事	2名	0名	0名	2名
評 議 員	12名	2名	2名	12名